

**製品名: IL-8 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab12570**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	11kDa

**抗原情報**

遺伝子名	IL8 CXCL8
別名	IL8; CXCL8; Interleukin-8; IL-8; C-X-C motif chemokine 8; Emotakin; Granulocyte chemotactic protein 1; GCP-1; Monocyte-derived neutrophil chemotactic factor; MDNCF; Monocyte-derived neutrophil-activating peptide; MONAP; Neutrophil-activating protein 1; NAP-1; Protein 3-10C; T-cell chemotactic factor
遺伝子 ID	3576.0
SwissProt ID	P10145
免疫原	抗血清はヒト IL8 の C 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 50-99

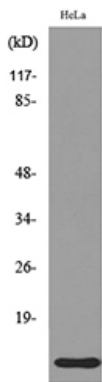
## 背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、CXC ケモカインファミリーのメンバーです。このケモカインは、炎症反応の主要なメディエーターの1つです。このケモカインは、いくつかの細胞型によって分泌されます。これは走化性因子として機能し、強力な血管新生因子でもあります。この遺伝子は、ウイルス感染によって引き起こされる一般的な呼吸器疾患である細気管支炎の発症に関与していると考えられています。この遺伝子と CXC ケモカイン遺伝子ファミリーの他の 10 のメンバーは、染色体 4q にマップされた領域でケモカイン遺伝子クラスターを形成します。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能: IL-8 は、好中球、好塩基球、および T 細胞を誘引する走化性因子ですが、単球は誘引しません。また、好中球の活性化にも関与しています。炎症刺激に反応して、いくつかの細胞型から放出されます。IL-8(6-77)は IL-8(1-77)と比較して、好中球活性化活性が 5~10 倍高く、IL-8(5-77)は好中球活性化活性が上昇し、IL-8(7-77)は CXCR1 受容体および CXCR2 受容体に対する親和性がそれぞれ高い。、オンライン情報: インターロイキン-8 のエントリー、PTM: 少なくとも末梢血単球、白血球、および内皮細胞から分泌された後、タンパク質分解によって N 末端が処理されたいくつかの形態が産生される。一般的に、IL-8(1-77)はインターロイキン-8 と呼ばれる。IL-8(6-77)は最もよく知られている形態である。、類似性: インタークリン α (ケモカイン Cx) ファミリーに属する。、サブユニット: ホモ二量体。、

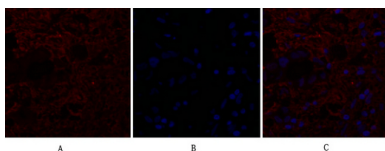
## 研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用、ケモカイン、Toll-Like、NOD 様受容体、RIG-I 様受容体、ヘリコバクター ピロリ感染における上皮細胞シグナル伝達、がんにおける経路、膀胱がん。

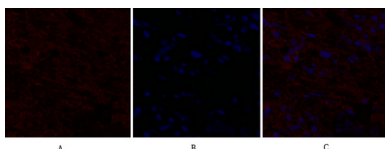
## 画像データ



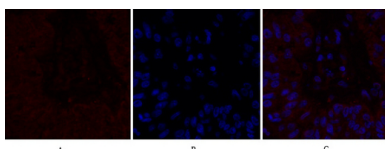
IL8 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解液のウエスタンブロット分析。



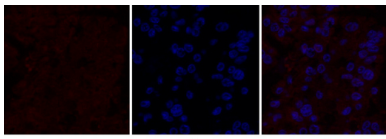
ヒト乳がん組織の免疫蛍光染色。1, IL-8 ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: 標的。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



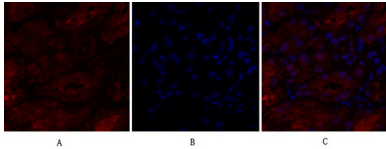
ヒト乳がん組織の免疫蛍光染色。1, IL-8 ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: 標的。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



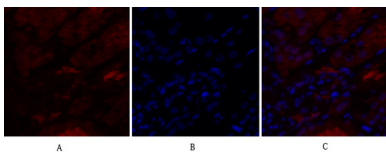
ヒト肝癌組織の免疫蛍光染色。1, IL-8 ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: 標的。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



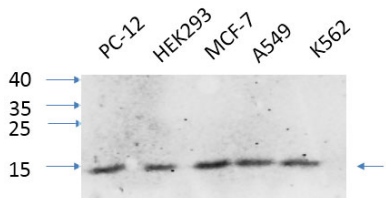
ヒト肝臓組織の免疫蛍光染色。1, IL-8 ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: 標的。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



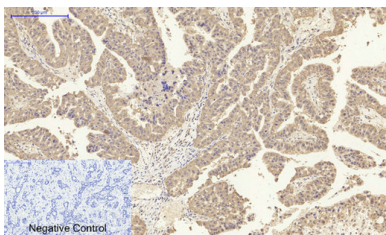
ヒト腎臓組織の免疫蛍光染色。1, IL-8 ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



ヒト腎臓組織の免疫蛍光染色。1, IL-8 ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



IL-8 ウサギポリクローナル抗体 (1:1000 希釈、4°C、一晚) を用いた各種細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体: ヤギ抗ウサギ IgG IRDye 800 (1:5000 希釈、25°C、1 時間)。



パラフィン包埋ヒト肝臓組織の免疫組織化学染色。1. IL-8 ポリクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98°C、20 分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。